

山形県広報誌県民のあゆみ令和2年11月号テキスト
データ読み上げ用として加工しています。

<表紙>

山形県広報誌／県民のあゆみ 令和2年11月号 第618号

県民のあゆみ 11月号

県民の皆さまへ 新型コロナウイルス感染症関連情報（2ページ）

特集 デザインが生み出す新たなものづくりのカタチ（4ページ）

奏であう人 本で地域や子どもたちを生き生きと（8ページ）

やまがた伝説 即身仏（16ページ）

表紙写真キャプション

デザイン思考を取り入れた66（ろくろく）将棋「なるこま」作りに携わった皆さん（撮影協力：東北芸術工科大学）

<2から3ページ>

感染防止と社会・経済活動を両立させる新しい日常へ

新型コロナウイルス感染症は今なお世界各地で猛威を振るい、国内でも多くの感染者が確認されています。本県では、4月の第1波を乗り越えてから、新規感染者は散発的（9月末現在）となっていますが、これからの時期は、季節性インフルエンザの流行にも備える必要があります。

県民の皆さまには、感染リスクは常に身の回りにあるという意識を持ち、基本的な感染防止策を実践いただくことが、そして、事業者の皆さまには、感染拡大予防ガイドラインを徹底していただくことが重要となります。

県では、検査・医療提供体制の充実を図るとともに、新型コロナによるいじめや偏見、差別への対策を講じるなど、安心して社会・経済活動ができる環境づくりを進めていきます。

山形県における新型コロナウイルス新規感染者数の推移

感染者数計78名（9月末時点）

3月31日から5月4日 第1波（感染者数69名）

4月16日 山形県を対象に緊急事態宣言

5月14日 山形県の緊急事態宣言を解除

5月5日から7月3日まで2か月間新規感染者なし

6月19日 県をまたいだ移動の自粛解除

7月4日から現在 新規感染者は散発的

なくそう！ 新型コロナによるいじめ・偏見・差別

新型コロナの感染者が本県ではじめて確認されて以降、感染者がお住まいの地域やSNS（注釈）上で、本人や家族、濃厚接触者、医療従事者などに対するいじめや偏見、差別と思われる言動があり、関係者の方が非常に心を痛めるという事例がありました。万が一、新型コロナに感染しても、安心して地域で暮らせるよう、県では、医療や法律、人権擁護などの関係機関と有識者による対策協議会を9月に設立し、悩み、苦しむ人をサポートする体制を構築しました。今後、差別などの事案が発生した際には、県と市町村がサポートチームを作り、専門家の助言を受けながら支援していきます。

新型コロナには誰もが感染する可能性があります。恐れるべきはウイルスであり、人ではありません。病気等を理由としたいじめや偏見、差別は絶対にやめましょう。

写真キャプション 第1回対策協議会の様子（県庁）

注釈 インターネットを介した交流のための会員制サービス

問い合わせ 地域福祉推進課 電話番号 023-630-2269

季節性インフルエンザ流行期もご注意を！

秋・冬はインフルエンザが流行する時季ですが、今シーズンは、新型コロナとの同時流行が懸念されています。

この2つの感染症は、発熱などの症状が似ており、区別がつきにくいですが、感染防止策は同じです。

こまめな手洗いやマスクの着用

身体的距離の確保

3つの密の回避

といった感染予防の基本的な取組みを徹底してください。さらに、部屋を暖かくするために窓を閉めることが多い季節なので、換気に気を付けてください。県では、高齢者や妊婦の方のインフルエンザワクチン接種を市町村と一緒に支援しています。早めのワクチン接種を心がけましょう。詳しくは市町村の予防接種担当課にお問い合わせください。

あらためて マスク着用の徹底を！

最近、マスクの代わりに、フェイスシールドやマウスシールドを使う方が増えています。これらは、医療現場での眼の保護、表情の伝達を含めたコミュニケーションが有用な場面で使われるものであり、会話やせき、くしゃみの際に飛沫（注釈）が飛び散るのを防ぐ効果は、マスクよりも低いとされています。感染防止のためにはマスクを着用しましょう！

注釈 小さなしぶき

写真キャプション フェイスシールド

せきやくしゃみで飛び散った飛沫から眼を保護する医療用防護具。口や鼻からの感染防止には、マスクとの併用が必要です。

写真キャプション マウスシールド

手話通訳者等が口の動きや顔の表情による視覚的なコミュニケーションを取る場合に着用します。

豪雨災害からの復旧・復興と新型コロナの克服に向けて

7月豪雨被害及び新型コロナウイルス感染症への対応を進めるとともに、喫緊の課題に対応するため、8・9月の補正を合わせ過去最大規模となる総額412億2,400万円の補正予算を編成しました。その代表的な取組みの一部をご紹介します。

7月豪雨被害への対応 219億円

7月末の豪雨は、県内各地に甚大な被害をもたらしました。県では、直ちに当初予算計上の災害対応予算を活用するとともに、8月補正では緊急に必要となる復旧等の経費を、9月補正では災害査定を踏まえた復旧費用等をそれぞれ計上しました。具体的には、災害復旧工事や、再度の被災防止対策を実施するほか、農産物の生産・加工に必要な施設・機械の再建や共同利用施設の補修・修繕等について政府の災害対策パッケージを活用して支援するとともに、市町村と連携して嵩（かさ）上げ補助を行います。

写真キャプション 最上川の氾濫状況（大石田町豊田）

新型コロナウイルス感染症への対応 113億3,800万円

1 医療・介護提供体制の強化、感染症拡大への備え

介護施設への介護ロボット等の導入支援 5,500万円

新型コロナの影響により感染症対策の業務が増えている介護現場への、介護ロボットやICT等の先端技術の導入を支援します。業務効率化により職員の負担軽減や働きやすい職場づくりを進め、介護人材の確保・定着につなげます。

2 新・生活様式の定着関連

バス事業者の交通系ICカード導入支援 5億7,000万円

住民の日常生活を支える路線バスについて、感染症の拡大防止と、県内外の利用者の利便性向上を図るため、交通系ICカードの導入を支援します。バス利用の回復・拡大等を通して、路線の維持や地域経済の活性化を図ります。

3 雇用の維持・確保、経営の安定

移住者及びコロナ関連失業者の就業促進 9,900万円

新型コロナの影響により地方移住への関心が高まっていることから、下記の支援により、首都圏等から本県への移住を促進します。また、新型コロナの影響により離職を余儀なくされた県民の就業促進を図ります。

●移住者を県内事業所で正社員として採用した場合、事業者及び移住者に奨励金等（事業者10万円又は30万円、移住者20万円又は30万円）を支給

●新型コロナによる離職者を正社員として採用した場合、その事業者に奨励金（10万円又は30万円）を支給

4 産業振興、経済活性化

住宅・木材産業活性化に向けた支援 1億200万円

新型コロナの影響により落ち込んだ住宅需要及び住宅に用いる木材需要を喚起するため、県産木材を使用した住宅を新築する場合と、新・生活様式に対応したリフォーム工事を実施する場合に、市町村と連携して補助します。

●一定の省エネ及び耐久性基準を満たす県産木材使用住宅の新築に対する補助（補助額100万円〔定額〕、対象戸数100戸）

●新・生活様式に対応したリフォーム工事に対する補助（補助額上限20万円〔工事費の2分の1〕、対象戸数500戸）

5 結婚・妊娠・子育て世帯や障がいのある方への支援

結婚・妊娠・子育てポジティブキャンペーン 3億1,800万円

新型コロナの影響により婚姻数や出生数の減少が懸念されることから、結婚するお二人に県産品等を贈り祝福するとともに、オンライン座談会で積極的に子育てできるメッセージを発信します。また、国の特別定額給付金の対象外とされた新生児に、応援金（5万円）を給付します。

6 「山形県新型コロナ対策応援金」の活用

フードバンク活動への支援 200万円

県民や県内企業・団体等からの助け合いの気持ちを善意として募集している「山形県新型コロナ対策応援金」を活用し、新型コロナの影響により増加している生活困窮者に食料を提供するフードバンク活動を行う団体に対して、その取組経費を補助します（1団体につき50万円）。

<4から5ページ>

タイトル

特集 デザインが生み出す新たなものづくりのカタチ 高付加価値なものづくりの実現

第4次山形県総合発展計画政策の柱3 『高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化』

第4次山形県総合発展計画の実現に向けて取り組む5つの政策の柱について、主要な取組みを紹介するシリーズの第3回目です。

写真キャプション 山形エクセレントデザイン展 2020（令和2年9月、遊学館）

県内企業を取り巻く環境

消費者ニーズの多様化、国際化やインターネットの普及で、県内企業を取り巻く環境は激変しています。市場では、製品の均一化による価格競争が進み、本県の多数を占める中小企業は苦戦を強いられています。

これからのものづくりの鍵は？

今後も県内企業が持続的に、発展していくためには、価格以外の要素で勝負しなければなりません。そこで必要とされるのが、「独自の価値」を持つ「高付加価値なものづくり」です。

「独自の価値」は、消費者の潜在的なニーズを掘り起こし、これを満たす製品を開発すること等で得られます。この潜在的なニーズの発見に役立つのが、デザイナーが行う思考過程です。

市場の変化

高度経済成長期 1970年まで

作れば売れた時代 供給者目線で商品やサービスを提供

1980年代以降

消費者ニーズに合わせる時代

市場の要望を調査、分析して商品やサービスを開発

現在

消費者ニーズを掘り起こす時代へ

今後の社会や消費者が求める商品やサービスを開発。では、どうやって！？

世界が相手 価格競争へ

インターネット グローバル化

デザインは見た目だけじゃない！

意匠や外形というイメージが強い「デザイン」という言葉。実は、海外では「設計」に近い意味で使われています。デザイナーは、依頼者の希望を満たすアイデアを創出するために、聞き取り、計画、試作を繰り返します。近年、この思考過程（デザイン思考）が、消費者の潜在的なニーズを見つけ解決する有効な方法として注目され、様々な場面で活用されるようになってきました。

県では、デザインを「問題解決のために計画を立て、創意工夫する行為」と定義し、これを利用して県内企業の「高付加価値なものづくり」を実現する取組みを行っています。

消費者が気づいていないニーズを発掘し新しい価値を持った製品やサービスを生み出す

デザイン思考が使えます

〇〇で困ってる！

う～んちょっと違う…

課題は▲▲だ！

解決策をひらめいた

試しに作ってみよう

これでどうですか？

もっと詳しく教えて

満足がいくまで何度も繰り返す

1 ものづくり産業に価値をプラス

県では2年に1度、県内で企画・開発・生産されている製品を対象に、優れたデザインを選定・表彰する山形エクセレントデザイン事業を行っています。山形エクセレントデザインの特長は、一過性のデザイン展で終わらずに、高付加価値なものづくりにつながる仕組みがいくつも仕掛けられている点です。

【選定品のPR】

受賞作品については、展示会やホームページ、SNS、パンフレット等を通して、その製品や企業・デザイナーの魅力を県内外に広く発信しています。

【製品の深化、関係者のマッチング】

惜しくも受賞に至らなかった作品や企業には、製品をより良い物に磨き上げるための「ブラッシュアップスクール」や企業とデザイナーの出会いの場「デザ縁（えん）」を提供し、次のチャレンジにつなげていきます。

これらの取組みにより、県内企業がデザイン思考を身につけ、製品開発に生かすことを目指すとともに、全国・海外に通用する競争力のある県内企業を増やしていきます。

山形エクセレントデザインの全体像

応募スタート 選定 おめでとう！ 展示会

応募スタート 惜しい！ 奨励企業 ブラッシュアップスクール レベルアップして再び挑戦

応募スタート 残念！ 応募企業等 デザ縁 レベルアップして再び挑戦

応募を入口として、デザインをより効果的に活用し、製品やサービスを磨き上げる流れを構築しています。

高付加価値な製品作りに成功！

河北町のスリッパメーカー阿部産業株式会社は、山形エクセレントデザイン事業に参加し、デザインによるものづくりを学びました。一般的なスリッパとの差別化を図り、自社製品のブランド化に成功しています。

写真キャプション 阿部弘俊社長

エクセレントデザインを通じて、製品の「価値の伝え方」を考えなければならないことを学びました。これからのものづくりは、デザインの力を使って商品をより良くしていくことが、不可欠だと思います。

2 地域のお悩みもデザインで解決！

県では昨年度から、東北芸術工科大学と連携し、デザイン思考による地域課題の解決に取り組んでいます。

1 伝統的工芸品をより魅力的に

高い品質を誇りながらも、生活様式の変化などで需要低下が問題となっている伝統的工芸品（注釈）。その販路拡大のために開発したのが「なるこま」です。誰でも楽しめる66（ろくろく）将棋の駒を和柄で表現し、使わない時には飾れる仕様にしたことで、初心者や、インバウンドを含む観光客など、新たな顧客層の開拓が期待されています。

注釈 山形鋳物、置賜紬、山形仏壇、天童将棋駒、羽越しな布の5品目

2 ITで「雪」を克服

「山形県民の冬の悩み『雪』を克服し、暮らしを便利にする」という課題には、積雪時に道路表示を路面に映す仕組み、雪を払う手間が省ける防寒具など個性的なアイデアが数多く提案されました。

その中で、IT技術により降雪量を簡単に検知する仕組みに、県内のものづくり企業が着目。現在、試作品の開発に取り組んでいます。

3 ものづくり企業を応援！

今春、県工業技術センターにデザイン科を新設し、デザイン思考を活用したものづくりの支援を始めました。各工程で生じる課題について、企業と共に考えながら、製品開発が進むように後押しをしていきます。

ものづくりでお悩みの皆さん私たちにご相談ください！

県工業技術センターデザイン科 電話番号 023-644-3222

メールアドレス yxdesign@yrit.pref.yamagata.jp

ホームページ やまがたのデザイン <https://www.yamagatanodesign.jp/>

合言葉は「&D（あんどでいー）」

デザインの活用は、製品価値を高める有効な手段です。県では、今後も「&D」（デザインと共に）を合言葉に、県内企業のものづくりを支援していきます。

■ぜひご覧ください！ 県政テレビ番組 いき☆いきやまがた放送のご案内

『デザイン』で新たな価値を創造！ものづくり産業の振興」と題して県内民放4局で特別番組（30分）を放送します。

山形テレビ（YTS）11月7日（土曜日）午後2時55分から

テレビユー山形（TUY）11月15日（日曜日）午後2時30分から

さくらんぼテレビ（SAY）11月22日（日曜日）午後4時から

山形放送（YBC）11月29日（日曜日）午後4時25分から

放送時間は変更になる場合があります。

問い合わせ 工業戦略技術振興課 電話番号 023-630-2697

<6から7ページ>

タイトル

もったいない!みんなで減らそう「食品ロス」

食品ロスって？

食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。食べ残し、売れ残りや手つかずの食品の廃棄などにより発生します。

どれくらい捨てられているの？

国内では、年間612万トン（注釈）もの食品ロスが発生しており、これは毎日10トントラック1,680台分を捨てている状況です。

注釈 平成29年度農林水産省・環境省推計

私たちの生活にどんな影響があるの？

食品ロスは、次のような負担や負荷を招き課題となっています。

1 食品関連事業者や消費者の負担増

生産や流通に要したエネルギーが無駄に。売れ残りの処分費負担や、食べ残し分の余計な出費等

2 廃棄時のごみ処理費用の負担増、環境への負荷

運搬や焼却にかかる費用が発生し、余分なCO2も排出

持続可能な社会を築くために、食品ロスを減らすことが求められています。

県民の皆さんに取り組んでいただきたいポイントをご紹介します。

家庭編

1 基本は買い過ぎない

買い物前は冷蔵庫や食品庫をチェック！余っていたり、買い置きしている食材が無いかを確認しましょう。

買う際は、まとめ買いを避け、必要な分だけを買うように心がけてください。

2 食材は使いきろう

残っている食材から優先して使い、無駄にしないようにしましょう。

賞味期限（注釈）が過ぎてもすぐに捨てず、加熱するなどして料理に活用しましょう。

注釈 おいしく食べることができる期限。期限を過ぎてもすぐに食べられなくなるわけではありません。

3 作り過ぎに注意！

体調や健康、家族の予定も考えて、食べきれる量を作り、おいしく残さず食べましょう。

残った料理は、お弁当用に保存したり、環境にやさしい料理レシピに挑戦して、無駄なく活用しましょう。

環境にやさしい料理レシピ

県では毎年、食材を無駄なく使う料理や、余った料理を生かしたりリメイク料理など、食品ロス削減につながるレシピコンテストを実施し、ユニークでアイデア満載の入賞レシピを県ホームページのほか、人気料理レシピサイト「クックパッド」でも公開しています。ぜひ、ご覧ください！

外食編

1 食品ロス削減に取り組むお店

県では、食品ロス削減に取り組む飲食店や宿泊施設等をもったいない山形協力店として県ホームページで紹介しています。

9月末時点で332店が登録。お店選びの参考にしてください。

2 注文する時は

自分の食欲や体調に応じて、小盛りやハーフサイズメニューなども検討し、食べられる分だけ注文しましょう。

3 食事では

注文した料理は残さず、おいしく食べきりましょう。

食べきれない場合は、お店の方に確認して、自宅に持ち帰りましょう。

食べ放題のお店では、元を取ろうと、無理して皿に盛ったり、食べ残したりしないようにしましょう。

4 宴会では

宴会では、提供された料理7皿あたり1皿相当分が捨てられているというデータがあります。30・10運動などのおいしい食べきり運動を実践して、食品ロスを減らしましょう。

30・10（サンマル・イチマル）運動

1 味わいタイム 乾杯後30分間は料理を楽しむ

2 お楽しみタイム 料理を食べながら、親睦を深める

3 食べきりタイム ラスト10分間はもう一度料理を楽しむ

注釈 新型コロナウイルス感染防止に留意しながら、幹事さんは「おいしく食べきろう」と呼びかけましょう！

これから年末年始にかけて食品ロスが増える時期、一人ひとりができることから取り組みましょう！

問い合わせ 循環型社会推進課 電話番号 023-630-2322

詳しくは検索窓に「山形県 食品ロス削減」と入れてクリック。

タイトル 県職員の給与の状況

■県職員給与の決定のしくみ

県職員の給与は、民間事業従事者の給与実態などを踏まえた人事委員会勧告に基づき、国や他の地方公共団体との均衡も考慮して、県議会の審議を経て条例で定められています。

■行財政改革の取組み

本県では、これまで、平成7年度の「山形県行財政改革大綱」以来、7次にわたり行財政改革推進プランなどを策定し、適正な定員管理、給与管理により、総人件費の増加の抑制を進めてきました。

引き続き、「山形県行財政改革推進プラン」（平成29～令和2年度）に基づき、簡素で効率的な組織機構の実現に向けて取り組むとともに、職員給与については、適正な制度運用を行っていきます。

なお、令和2年度当初予算における職員給与費は、10年前の平成22年度当初予算と比較した場合、81億円(6.9%)を削減しています(1,172億円→1,091億円)。同様に、令和2年度当初の定員(企業局及び病院事業局を除いた普通会計部門の人数)は、平成22年度当初と比較した場合、1,326人(7.4%)を削減しています(17,886人→16,560人)。

人件費の状況(普通会計決算令和元年度)

- 歳出額(A)／5,800億5,867万円
- 人件費(B)／1,513億7,616万円
- 人件費率(B/A)／26.1パーセント
- 平成30年度の人件費率(参考)／27.0パーセント

注釈 人件費には、特別職に支給される給料・報酬等を含みます。

職員給与費の状況(普通会計予算令和2年度)

職員数／16,314(92)人

給与費の内 給料：697億6,550万円

給与費の内 職員手当：120億978万円

給与費の内 期末・勤勉手当：272億9,161万円

給与費合計 1,090億6,689万円

職員1人当たりの給与費／669万円

注釈1 職員手当には退職手当を含みません。

注釈2 括弧内は、再任用短時間勤務職員であり、外書きです。

職員の平均給料・平均給与の月額及び平均年齢(令和2年4月1日現在)

一般行政職 給料月額／337,400円 給与月額／421,200円 年齢／43歳11月

警察職 給料月額／323,800円 給与月額／441,600円 年齢／38歳10月

高等学校教育職 給料月額／391,100円 給与月額／429,100円 年齢／46歳10月

小中学校教育職 給料月額／375,300円 給与月額／406,000円 年齢／45歳4月

技能労務職 給料月額／335,600円 給与月額／376,100円 年／51歳7月

注釈 給与月額は給料月額に職員手当の月額を加えたものです。

職員の初任給の状況(令和2年4月1日現在)

一般行政職 大学卒業程度／給料月額 185,100円 高校卒業程度／給料月額 152,300円

警察職 警察官A／給料月額 212,000円 警察官B／給料月額 172,000円

高等学校教育職 大学卒／給料月額 207,400円 高校卒／給料月額 161,800円

小中学校教育職 大学卒／給料月額 207,400円 高校卒／給料月額 161,900円

定員の状況（各年4月1日現在）

知事部局／令和元年度 4,021人／令和2年度 4,048人／増減 プラス27人

議会事務局／令和元年度 30人／令和2年度 30人

選挙管理委員会事務局／令和元年度 4人／令和2年度 4人

監査委員事務局／令和元年度 16人／令和2年度 16人

人事委員会事務局／令和元年度 16人／令和2年度 16人

海区漁業調整委員会事務局／令和元年度 1人／令和2年度 1人

内水面漁場管理委員会事務局／令和元年度 0人／令和2年度 0人

警察本部／令和元年度 2,350人／令和2年度 2,350人

教育委員会計／令和元年度 10,197人／令和2年度 10,095人／増減 マイナス102人

教育委員会の内 教育庁／令和元年度 256人／令和2年度 238人／増減 マイナス18人

教育委員会の内 小・中・高等学校等／令和元年度 9,941人／令和2年度 9,857人／増減 マイナス84人

普通会計部門計／令和元年度 16,635人／令和2年度 16,560人／増減 マイナス75人

企業局／令和元年度 164人／令和2年度 163人 マイナス1人

病院事業局／令和元年度 1,966人／令和2年度 1,942人／増減 マイナス24人

合計／令和元年度 18,765人／令和2年度 18,665人／増減 マイナス100人

注釈1 組織改編により教育委員会から知事部局へ定数（27）を移管しています。

注釈2 知事部局に公営事業会計の流域下水道事業会計（13）を含んでいます。

職員の期末・勤勉手当（令和2年4月1日現在）

期末手当 6月期／1.275月分 12月期／1.275月分 計／2.55月分

勤勉手当 6月期／0.925月分 12月期／0.925月分 計／1.85月分

計／ 6月期／2.2月分 12月期／2.2月分 計／4.4月分

注釈 国家公務員（計4.5月分）と比べて0.1月分低くなっています。

職員の退職手当（令和2年4月1日現在）

勤続20年の場合の支給率／自己都合 19.6695月分／勸奨・定年／ 24.586875月分

勤続25年の場合の支給率／自己都合 28.0395月分／勸奨・定年 33.27075月分

勤続35年の場合の支給率／自己都合 39.7575月分／勸奨・定年 47.709月分

最高限度額／自己都合 47.709月分／勸奨・定年 47.709月分

その他加算措置：定年前早期退職特例措置（2～20%加算）

1人当たり平均支給額：一般職員 2,017万円／全体 2,104万円

注釈1 国家公務員と同様の制度となっています。

注釈2 退職手当の1人当たり平均支給額は、令和元年度に退職した職員に支給された平均額です。なお、一般職員とは、全職種に係る職員から警察職及び教育職を除いた職員です。

特別職の給料月額等（令和2年4月1日現在）

知事：給料月額等 1,240,000円

副知事：給料月額等 954,000円

議員報酬

議長：給料月額等 904,000 円

副議長：給料月額等 807,000 円

議員：給料月額等 778,000 円

期末手当

知事・副知事・議長・副議長・議員：給料月額等 6 月期 1.65 月分／12 月期 1.65 月分／計 3.5 月分

注釈 1 議長、副議長及び議員については、令和 2 年 7 月 1 日から令和 2 年 9 月 30 日まで、議員報酬を減額（マイナス 10%）しています。

注釈 2 知事及び副知事については、令和 2 年 6 月期における期末手当は支給しないこととしています。

注釈 3 期末手当の額は、給料月額等に 100 分の 45 の割合を乗じて得た額を当該給料月額等に加算した額に支給月数を乗じた額です。

●問い合わせ 人事課 電話番号 023-630-2024

詳しい内容は、ホームページでご覧になれます。

<https://www.pref.yamagata.jp/kensei/recruit/jinjikyuuuyo/index.html>

<8 から 9 ページ>

タイトル **奏であう人** ボリューム 57

撮影場所 上山市立図書館（上山市）

キーワード **本で地域や子どもたちを生き生きと**

図書館長としてさまざまな読書体験の機会づくりを試みる岩井さん、海外の絵本・児童書を自ら選び、翻訳を行う横山さんのお二人に、子どもと読書のかかわり方についてお話をお聞きしました。

岩井 哲（いわい さとし）さん（上山市）

昭和 24 年生まれ、上山市出身、上山市在住。昭和 55 年より、編集・出版工房「書肆犀（しょしさい）」を主宰。詩集、画集から研究書まで、100 冊を超える在郷の表現者たちの本を幅広く手がける。また、地元上山のローカルマガジン『月刊かみのやま』は創刊から 18 年、234 号を数える。平成 27 年より東北芸術工科大学〔社会学〕非常勤講師、令和元年より民間人としては珍しく上山市立図書館館長を務める。

写真キャプション 書肆犀から世に出た書籍たちの一部（上段左から）『ありのまま記』『詩というテキスト』『一本の口紅』『母のない子は日に一度死ぬ』『大原堂戯曲集 I』『パリの街角から』『養正館のひぐらし』『ぐうたら草』『田園の大逆襲』『若者たちはヤマガタで何を企てているか？』

横山 和江（よこやま かずえ）さん（山形市）

昭和 43 年生まれ、埼玉県出身、山形市在住。アメリカで開発されたソフトウェアの英語表記やマニュアルの翻

訳を手がける。2006年、絵本・児童文学の翻訳家として活動を始める。原作の選定、出版企画から手がけ、デザインや紙質の検討に関わることも多い。昨年末には、クラウドファンディングで資金集めから関わった『ジュリアンはマーメイド』（ジェシカ・ラブ作／サウザンブックス）を出版。やまねこ翻訳クラブ会員。

写真キャプション 『サンタの最後のおくりもの』（徳間書店）以来15年で手がけた絵本・児童書は38冊におよぶ。主な訳書に『サディがいるよ』（福音館書店）、『ほしのこども』（岩波書店）、『キャラメル色のわたし』『山はしている』（ともに鈴木出版）、「ベネベントの魔物たち」シリーズ（偕成社）など多数。

本に囲まれて育ち今の仕事につながる

「地元短歌会の会誌を制作・配布するような文学好きの父、本棚いっぱいの本、そんな家庭環境の影響かもしれません。これまでの自分の回転軸はずっと本でした」。

岩井さんは編集・出版に深くかかわってきた理由をそう振り返ります。

「図書館長にとの話をいただいたのも、長く地元情報誌の編集や新聞紙上への寄稿を続けてきたからだだと思います」。

一方の横山さんも、姉が大の本好きで、海外の翻訳作品に触れる機会が多かったと話します。

「学生の頃に、ピーターラビットの原書を訳してみても、翻訳の難しさと面白さを知り、いつか翻訳の仕事をしたいと思い始めました」。

パソコン通信のニフティサーブで出会った同志の仲間たちとの交流を通して、勉強、情報収集、売り込みなど、翻訳業に取り組み始めたのは、結婚を機に山形へ引っ越し、子どもが生まれてからです」。

能動的な読書体験 海外作品ならではの多様性

図書館の活動やイベントに多い読み聞かせは、一歩間違えると受け身になりがちだと岩井さん。

「そこで、図書館ボランティアの発案で子どもが自分で本を選ぶ〈これ読んでコーナー〉を設けました」。

横山さんが、自身のお子さんに読み聞かせした体験からこう応えます。

「自分から物語に好奇心を持つ子と、読んでもらう行為自体に安心、満足を得る子がいます。ただ、親が本を読まない、子どもも読まないのは確かですね」。

横山さんの翻訳作品は、大人が読んでも考えさせられるような物語が多くあります。

「肌の色の違い、性差、障がいの有無など、登場人物もテーマもさまざまですが、それを多様性としてありのまま見せる作品が海外には多いように思います」。

無理にハッピーエンドで終わらせず、読者に解釈や想像の余地をあえて残す〈オープンエンド〉など懐の深さも特徴だとか。

岩井さんがこれにうなずきます。

「日本の児童書、とりわけ昔話の世界などは教訓的な方向に向かう印象があります。対して横山さんが手がけた作品は、物語そのものを読ませているように思います」。

自分で読みたい本を選べる環境づくりを

岩井さんが言葉を続けます。

「保護者に人気なのは、同じ絵本の〈日本語・英語読み聞かせ〉ですが、英語教育の側面だけが重視されていないか気になる時があります」。

「知育絵本や学習絵本が好まれるのも同じ傾向ですね」と横山さん。

「ですから、岩井さんが取り組まれているような、自分で読みたい本を選ばせる環境づくりが大切です。親や司

書の方が、子どもに本の情報を伝えるブックトークの機会をもっと増やしてほしいですね」。

横山さんは今後、翻訳のほかにも、エッセイなどを通して、多くの本を紹介する活動にも取り組んでいきたいと話してくれました。

<10 から 11 ページ>

タイトル **県議会だより** 第 81 号

9 月定例会の概要

令和 2 年 9 月定例会は、9 月 18 日から 10 月 9 日までの 22 日間の会期で開かれ、令和 2 年度一般会計補正予算など知事提出の議案等を審議しました。

主な質疑内容は、次のとおりです。

代表質問の質疑内容

自由民主党 森田 廣 議員 酒田市・飽海郡選挙区 9 月 25 日

- ◆県政運営と次期知事選に向けた考え方について
- ◆今後の豪雨災害への対応について
- ◆感染不安を払拭する PCR 検査等の拡充について
- ◆令和 3 年度の予算編成方針について
- ◆本県の行政のデジタル化推進について
- ◆コロナ禍後の本県産業の発展に向けた取組みについて
- ◆本県の食料自給率と所得の向上を図る農業施策について
- ◆警察官の不祥事の克服について
- ◆エネルギー戦略の見直しの方向性について
- ◆県の私立学校の監督責任について
- ◆東北公益文科大学の公立化について

県政クラブ 木村 忠三 議員 米沢市選挙区 9 月 25 日

- ◆県政の今後について
- ◆調整基金の見通しと来年度の予算編成について
- ◆山形新幹線の機能強化について
- ◆復興につながる治水対策の推進について
- ◆発達障がい児・医療的ケア児に対する県の支援について
- ◆新型コロナ流行下における季節性インフルエンザ対策について
- ◆専門職大学の開学について

一般質問の主な質疑内容

自由民主党 遠藤 寛明 議員 上山市選挙区 9 月 28 日

- ◆河川の浚渫など流下能力向上対策について
- ◆気象変動に対応した山形県の果樹の対策について

◆G I G Aスクール構想の推進について など

県政クラブ 高橋 淳 議員 鶴岡市選挙区 9月28日

- ◆新型コロナウイルス感染症に対する本県農林水産業の対応について
- ◆学校現場に即したICT教育の進め方について
- ◆今後の再生可能エネルギー導入の進め方について など

日本共産党山形県議団 渡辺 ゆり子 議員 山形市選挙区 9月28日

- ◆消費税の減税について
- ◆コロナ禍における女性視点の対策について
- ◆少人数学級のさらなる推進について など

自由民主党 小松 伸也 議員 最上郡選挙区 9月28日

- ◆新型コロナウイルス感染症対策と経済活動の両立に向けた対応について
- ◆県有施設の維持管理業務の一元化について
- ◆コロナ禍における県立病院の面会制限について など

予算特別委員会の主な質疑内容

自由民主党 相田 光照 議員 米沢市選挙区 9月30日

- ◆「就労支援コーディネーター」の活動内容について
- ◆「出羽三山」の風力発電適地除外について など

県政クラブ 菊池 大二郎 議員 村山市選挙区 9月30日

- ◆防災力の向上について
- ◆コロナ禍における結婚・子育て支援について など

自由民主党 柴田 正人 議員 南陽市選挙区 9月30日

- ◆情報公開訴訟の最高裁の上告不受理の決定を受けての説明責任と道義的責任について
- ◆観光振興も含めたバリアフリーの推進について など

自由民主党 洪間 佳寿美 議員 米沢市選挙区 10月1日

- ◆若者の県内定着・回帰の促進について
- ◆災害時における県と事業所等との応援協定の実効性について など

公明党 菊池 文昭 議員 山形市選挙区 10月1日

- ◆東北DCについて
- ◆公文書一部不開示決定処分取消訴訟について など

自由民主党 船山 現人 議員 東置賜郡選挙区 10月1日

- ◆県内幹線道路網形成における残された課題について
- ◆東南置賜地区の高校再編の考え方について など

県政クラブ 青柳 安展 議員 東根市選挙区 10月2日

◆農林業専門職大学について

◆県立博物館の現状と今後の展望について など

自由民主党 田澤 伸一 議員 東田川郡選挙区 10月2日

◆本県における最低賃金のあり方について

◆東北公益文科大学の公立化の進め方について など

8月臨時会の概要

県内各地に甚大な被害をもたらした7月の豪雨災害に対応するため、令和2年8月臨時会が8月31日に召集され、知事提出の令和2年度一般会計補正予算、1議案を可決しました。

大雨被害の復旧に向けて建設常任委員会で現地調査を実施

8月11日、東根市、村山市、大蔵村の3箇所の災害現場を調査しました。

大蔵村南山地区の一般県道片倉塩線では、道路の欠損状況について説明を受け、今後の対応について意見を交わしました。

写真キャプション 現地調査の様子

新型コロナ対策に向けて関係者から意見を聴取

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会において、保健医療分野、産業・観光分野、教育分野の関係者から現場の意見を聴取しました。

◆9月11日

【保健医療】

最上保健所所長 鈴木 恵美子 氏

【観光】

一般社団法人山形県旅行業協会

会長 佐藤 順仁 氏

事務局長 長谷川 秀孝 氏

◆9月25日

【教育（学校）】

山形県連合小学校長会会長 日高 伸哉 氏

【産業】

公益社団法人日本青年会議所

山形ブロック協議会会長 奥山 恵治 氏

（寒河江青年会議所 理事長） 住吉 克久 氏

（上山青年会議所 理事長） 藤岡 真伍 氏

写真キャプション 委員会の様子

3特別委員会で研修会を開催

県政課題に対応するテーマについて、調査審議を行うため、地方創生に着目した3つの特別委員会を設置しています。このたび、各テーマに応じた研修会を開催しました。

◆10月1日

地球温暖化防止・異常気象対策特別委員会

「ゼロカーボン社会と地域の未来 省エネ、再エネは地域に何をもちこたすか」

東北芸術工科大学教授 三浦 秀一 氏

◆10月2日

産業競争力強化・担い手確保対策特別委員会

「本県産業を取り巻く状況について」

株式会社山形丸魚 代表取締役会長

(山形商工会議所 会頭) 矢野 秀弥 氏

◆10月8日

健康医療・子育て支援対策特別委員会

「女性がさらに活躍できる社会に向けて必要なこと 女性の活躍と地域の未来 皆が幸せに暮らす県・山形に向けて」

合同会社work life shift 代表 伊藤 麻衣子 氏

写真キャプション 研修会の様子

宮城県議会・山形県議会交流議員連盟総会等を開催

9月9日、山形市内で両県議会の交流議員連盟の総会、講演会及び意見交換会を開催しました。

「今後の医療提供体制のあり方について」と題して、山形大学大学院医療政策学講座の村上正泰教授から講演いただいた後、「災害に強い防災先進地域の形成」など4つのテーマに分かれ、両県議員間で活発な意見交換を行いました。

写真キャプション 講演会の様子

県議会ギャラリーの様子

県議会ギャラリーでは、9月定例会中、『第44回全国高等学校総合文化祭(2020こうち総文)』の美術・工芸部門に参加した6校の高校生の作品を展示しました。

写真キャプション1 県議会ギャラリーの様子

写真キャプション2 高校生の作品

地域議員協議会開催のお知らせ

県内各地域における行政課題や施策展開について、幅広く調査、審議、提言するため、県内各総合支庁において、それぞれの地元議員からなる「地域議員協議会」を開催します。どなたでも傍聴できますので、ぜひお近くの会場に足をお運びください。

東南村山地域(村山総合支庁本庁舎) 11月13日(金曜日)午後2時から

西村山・北村山地域(村山総合支庁西村山地域振興局) 11月13日(金曜日)午前10時から

最上地域(最上総合支庁) 11月13日(金曜日)午後3時から

置賜地域(置賜総合支庁本庁舎) 11月13日(金曜日)午後3時から

庄内地域（庄内総合支庁）11月13日（金曜日）午前10時から

問い合わせ 編集発行／山形県議会事務局議事調査課 電話番号 023-630-2845

詳しくは検索窓に「山形県議会」と入れてクリック。

<12 ページ>

タイトル **地域の旬だより** 各地からの情報をお届けします。

村山エリア 旬の山形セルリーを召し上がれ！

山形県は東北一のセルリー（セロリ）生産地！そのほとんどが山形市農協管内で栽培されている「山形セルリー」です。収穫は春と秋の二回で、今、秋どりが旬を迎えています。

約50年の栽培の歴史がある山形セルリーですが、一時は生産者の高齢化等により産地存続の危機にありました。そこで、栽培ハウス団地の整備、ベテラン生産者から栽培希望者への技術の伝授やブランド戦略を進めた結果、現在では未来を担う若手生産者が増え、活気ある産地として再生してきています。

また、大事に守り育ててきた種や風土に合わせた栽培技術が評価され、地理的表示（GI）や地域団体商標を取得し、山形を代表する野菜としてさらに成長しました。シャキシャキとして瑞々しく、独特の苦みが少ないのが特徴の山形セルリーをぜひ、ご賞味ください！

写真キャプション1 左：1株2kg前後ある「とのセルリー」

写真キャプション2 右：約1kgと小株の「ひめセルリー」

問い合わせ 村山総合支庁農業技術普及課 電話番号 023-621-8279

詳しくは検索窓に「村山旬の市」と入れてクリック。

庄内エリア あど、そんま（もうすぐ）完成！羽黒山バイパス

「涼しさや ほの三日月の 羽黒山」

松尾芭蕉が出羽三山を訪れ名句を詠んでから約330年が過ぎた今、この地に新たな道路が開通します。年間約70万人もの観光客が訪れる羽黒山。そのアクセス道路の主要地方道鶴岡羽黒線のうち、鶴岡市羽黒町手向地区から羽黒山有料自動車道に至る区間は、幅が狭くカーブが続く急勾配のため、特に冬期間は事故や渋滞が多発していました。このため、平成2年度からバイパス工事に着手し、長い歳月をかけて整備してきました。この夏に羽黒山神路大橋（はぐろさんかみじおおはし）の舗装工事が終わり、降雪期前までに、残る1.5kmの区間の整備が完成すると、全線開通となります。バイパスの開通により、冬でも安全・快適に羽黒山にお越しいただけるようになりますので、いつでも遊びさ来てくれの～

羽黒山バイパス（概要）

整備延長：3,220m

道路幅員：車道9.5m 歩道2.5m

（現道は車道6.0m、歩道なし）

最急縦断勾配：5.3%

(現道は 12.5%)

写真キャプション 羽黒山神路大橋 (L=272m)

問い合わせ 庄内総合支庁道路計画課 電話番号 0235-66-5605

詳しくは検索窓に「羽黒山バイパス」と入れてクリック。

県内おススメ文化・スポーツ情報

やまぎん県民ホールオープニング事業

東京バレエ団「くるみ割り人形」

東京バレエ団による山形公演が23年ぶりに実現！ 演目は、昨年、斎藤友佳理芸術監督の総指揮のもと新制作に取り組み好評だったチャイコフスキー作曲三大バレエの1つ「くるみ割り人形」です。粒ぞろいのダンサーたちが織りなす、きらびやかな夢と幻想の世界をお楽しみください。

開演日時

12月19日(土曜日) 午後1時30分

出演

東京バレエ団(舞踊) 山形交響楽団(管弦楽)

会場

やまぎん県民ホール(山形市)

全席指定

詳しくは検索窓に「やまぎん県民ホール」と入れてクリック。

問い合わせ

やまぎん県民ホールチケットデスク 電話番号 023-664-2204 (受付時間 水曜日から月曜日 10時から19時)

注釈 本事業は「やまがたの文化応援キャンペーン」の対象外となります。

山形交響楽団 第288回定期演奏会

ベートーヴェン生誕250年メモリアルイヤー

開演日時

11月28日(土曜日) 午後7時

11月29日(日曜日) 午後3時

出演

指揮 栗辻 聡

演目

バレエ音楽「プロメテウスの創造物」作品43序曲 ほか

会場

山形テルサホール(山形市)

前売券

一般 4,500円 ほか

詳しくは検索窓に「山形交響楽団」と入れてクリック。

文化イベント・施設の利用やプロスポーツ観戦をお得に

山形交響楽団の鑑賞券や美術館等の入場券、県内プロスポーツチームの観戦チケット等が割引となるキャンペーンを実施中！

11月末までは、美術館・博物館等を利用する児童・生徒は無料となるなど、内容を拡充しました！
(団体毎、上限に達し次第終了となります。)

詳しくは検索窓に「やまがたの文化応援キャンペーン」と入れてクリック。

詳しくは検索窓に「やまがたプロスポーツ応援キャンペーン」と入れてクリック。

プロスポーツゲーム情報

「モンテディオ山形」ホームゲーム

開催日

11月4日(水曜日)

対戦チーム

アルビレックス新潟

開催日

11月11日(水曜日)

対戦チーム

大宮アルディージャ

開催日

11月15日(日曜日)

対戦チーム

徳島ヴォルティス

開催日

11月25日(水曜日)

対戦チーム

ツエーゲン金沢

開催日

12月2日(水曜日)

対戦チーム

F C町田ゼルビア

開催日

12月13日(日曜日)

対戦チーム

ファジアーノ岡山

注釈 最新の試合日時はホームページをご覧ください。

会場 ND ソフトスタジアム山形(天童市)

詳しくは検索窓に「モンテディオ山形」と入れてクリック。

「パスラボ山形ワイヴァンズ」ホームゲーム

開催日時

11月14日（土曜日）午後6時

11月15日（日曜日）午後2時

対戦チーム

ライジングゼファー福岡

試合会場

山形市総合スポーツセンター

開催日時

11月28日（土曜日）午後6時

11月29日（日曜日）午後2時

対戦チーム

群馬クレインサンダーズ

試合会場

県総合運動公園（天童市）

開催日時

12月12日（土曜日）午後5時

12月13日（日曜日）正午

対戦チーム

西宮ストークス

試合会場

県総合運動公園（天童市）

開催日時

12月26日（土曜日）午後6時

12月27日（日曜日）午後2時

対戦チーム

群馬クレインサンダーズ

試合会場

三友エンジニア体育文化センター（上山市）

詳しくは検索窓に「パスラボ山形ワイヴァンズ」と入れてクリック。

文化関係の問い合わせ 文化振興・文化財課 電話番号 023（630）3342

スポーツ関係の問い合わせ スポーツ振興・地域活性化推進課 電話番号 023（630）2284

注釈 9月30日時点の情報です。新型コロナの影響で変更となる場合がありますので、事前に問い合わせ先にご確認ください。

旬のやまがた美食レシピ

今が旬、日本人の食生活に根付いた食材「鮭（シロザケ）」

縄文時代から日本人に食され、親しまれてきた魚「鮭」。古くは「イオ」とも呼ばれ、その語源は「魚の王」と言われています。本県は古くから鮭の産地であり、特に鳥海山の伏流水を源とする月光川（がっこうがわ）水系は「鮭の遡（のぼ）る川」として有名です。川で生まれた鮭は、半年後に海に出ます。北海道沿岸を經由してアラ

スカ沖まで長い旅をしながら成長し、約4年後、晩秋に故郷の川に帰ってきます。川への遡上（そじょう）前に海水域で取れる、銀色の鱗をした、身質が良く脂がのった鮭は「ギンケ」と呼ばれ、高値で取引されます。庄内浜で秋に取れる鮭と、その卵「はららご」（イクラ）は山形の代表的な秋の味覚です。今回は国産水産物流通促進センター主催「Fish-1 グランプリ」で昨年、山形県漁協が見事グランプリに輝いた、庄内浜産鮭をぜひたくに使ったレシピをご紹介します。

庄内浜産おさしみ鮭とイクラ漬け丼

材料（1人分）

酢飯 150g、刺身用鮭 60g、イクラしょうゆ漬け 70g、鮭白子 1片、鮭皮 2切れ、大葉 1枚、刻みねぎ、刻みのり、ごま、ゆず、塩こうじ、だししょうゆ、片栗粉、揚げ油各適量

作り方

- ① 刺身用鮭を冷凍（一日以上凍結）したのち、解凍し、スライスしてだししょうゆと塩こうじに漬ける。
- ② 鮭白子に片栗粉をまぶし、鮭皮は十分に水気を拭き取る。
- ③ ②を油で揚げる。
- ④ 酢飯にごまを混ぜ、丼に盛り付け、その上に刻みのりを敷く。
- ⑤ 丼の端に大葉を置き、酢飯の中心に①をのせ、囲むようにイクラを盛り付ける。

大葉の上に③と刻みねぎを盛り付け、すりおろしたゆずを振りかけて完成。

問い合わせ 庄内総合支庁水産振興課 電話番号 0234-24-6045

詳しくは検索窓に「庄内浜の秋サケ」と入れてクリック。

<14 から 15 ページ>

タイトル おいしい山形インフォメーション

山形県の人口と世帯数 令和2年9月1日現在

人口総数 1,065,691 人（前月比マイナス 691 人）

世帯数 401,645（前月比プラス 22 世帯）

注釈 9月30日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の影響で変更となる場合がありますので、事前にご確認ください。

【募集】

令和3年度学生募集

県立農林大学校（新庄市）

募集科

稲作経営学科／果樹経営学科／野菜経営学科／花き経営学科／畜産経営学科／林業経営学科／農産加工経営学科

出願期間

【前期】11月16日（月曜日）から24日（火曜日）

【後期】3月1日（月曜日）から8日（月曜日）

試験日

【前期】12月4日（金曜日）

【後期】3月15日（月曜日）

課程 全て2年

問い合わせ 電話番号 0233-22-1527

県立産業技術短期大学校（山形市）

募集科

デジタルエンジニアリング科／メカトロニクス科／知能電子システム科／情報システム科／建築環境システム科／土木エンジニアリング科

出願期間

【前期】11月16日（月曜日）から27日（金曜日）

【後期】2月15日（月曜日）から3月3日（水曜日）

試験日

【前期】12月6日（日曜日）

【後期】3月7日（日曜日）

課程 全て2年

問い合わせ 電話番号 023-643-8431

県立産業技術短期大学校庄内校（酒田市）

募集科

生産エンジニアリング科／情報通信システム科／IT会計ビジネス科

注釈 社会人特別入試あり（生産エンジニアリング科、IT会計ビジネス科）

出願期間

【前期】11月16日（月曜日）から30日（月曜日）

【中期】12月21日（月曜日）から1月18日（月曜日）

【後期】3月8日（月曜日）から22日（月曜日）

試験日

【前期】12月5日（土曜日）

【中期】1月23日（土曜日）

【後期】3月24日（水曜日）

課程 全て2年

問い合わせ 電話番号 0234-31-2300

県立山形職業能力開発専門校（山形市）

募集科

自動車科／建設技術科

出願期間

【一般選考】11月2日（月曜日）から17日（火曜日）

【一般選考（二次）】1月26日（火曜日）から2月9日（火曜日）

試験日

【一般選考】11月26日（木曜日）

【一般選考（二次）】 2月19日（金曜日）

注釈 一般選考（二次）については、定員に達しない場合に限り実施します。

課程 全て2年

問い合わせ 電話番号 023-644-9227

県立庄内職業能力開発センター（酒田市）

募集科

金属技術科

出願期間

【前期】10月5日（月曜日）から11月13日（金曜日）

【後期】12月14日（月曜日）から1月27日（水曜日）

試験日

【前期】11月29日（日曜日）

【後期】2月7日（日曜日）

追加選考試験

2月15日（月曜日）から3月11日（木曜日）

試験日

3月21日（日曜日）

注釈 追加選考試験については、定員に達しない場合に限り実施します。

課程 1年

問い合わせ 電話番号 0234-31-2700

【催し物】

犯罪被害者支援県民のつどい2020

犯罪被害者とその家族が置かれている状況や必要な支援等について、講演などを通して理解を深めます。

注釈 新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で開催します。

◆日時

11月25日（水曜日）午後1時30分から午後3時45分

◆会場

山形国際交流プラザ山形ビッグウイング（山形市）

◆入場

無料（要事前予約）

◆内容

犯罪被害者支援に関する講演 など

問い合わせ 消費生活・地域安全課 電話番号 023（630）2460

メール申込はこちら yshohianzen@pref.yamagata.jp

郷土 Yamagata ふるさと探究コンテスト

小学生・中学生・高校生が、自分の住んでいるところについて授業や地域活動の中で学んだ成果を発表するコンテストの最終審査会を開催します。児童生徒の“熱い発表”をぜひご覧ください。

◆日時

11月28日（土曜日）午後1時から

◆会場

遊学館ホール（山形市）

◆入場

無料

注釈 新型コロナウイルス感染症防止のため、マスク着用、検温にご協力ください。

問い合わせ 教育庁教育政策課 電話番号 023(630)2692

過去の発表動画はこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/700001/bunkyo/kyoiku/syakai/kyouiku/hurusatotannkyuu.html>

【お知らせ】

令和3・4年度の物品及び役務の調達に係る競争入札参加資格申請の受付を行います

◆受付期間

令和2年11月1日（日曜日）から令和3年2月1日（月曜日）

注釈 閉庁日を除く

◆申請先

会計局会計課（県庁1階）または各総合支庁出納室（地域振興局は総務課）

◆申請方法

原則郵送

注釈 現在登録されている方も更新の手続きが必要となりますので、忘れずに申請してください。

問い合わせ 会計局会計課 電話番号 023(630)2724

令和2年10月3日から山形県の最低賃金が改定されました

1時間 790円から793円

最低賃金以上の賃金が支払われていますか？お確かめください。

問い合わせ 雇用対策課 電話番号 023(630)3245

PR

山形県公式Twitter アカウント名は @pref_yamagata

山形県宝くじ情報

県内で販売された宝くじの売上げの一部は、県や県内市町村の収益金となり、道路や橋、学校、公園の整備など私たちの身近な暮らしに役立てられています。宝くじは、ぜひ山形県内でお買い求めください。

年末ジャンボ宝くじ 10億円

年末ジャンボミニ 5,000万円

発売期間

11月24日（火曜日）から12月25日（金曜日）

問い合わせ 財政課 電話番号 023(630)2044

11月は児童虐待防止推進月間です

児童虐待は社会全体で解決すべき問題です。あなたの1本の電話で救われる子どもがいます。児童虐待かと思ったら、すぐに市町村や児童相談所の窓口に連絡してください。

◆児童相談所全国共通ダイヤル

電話番号 189（いちはやく）

県ではこの期間を中心に、児童虐待の防止や子どもの人権に関心を持ってもらうため、「山形県オレンジリボンキャンペーン」を実施します。詳しくは県ホームページまたは下記へ。

詳しくは検索窓に「山形県 オレンジリボンキャンペーン」と入れてクリック。

問い合わせ 子ども家庭課 電話番号 023(630)2347

高齢者の交通事故防止推進強化旬間（11月1日から10日）

日没がさらに早まるこの時期は、夕暮れ時から夜間にかけて、特に高齢者が関係する交通事故が多発します。早めのライト点灯や夜光反射材の着用で交通事故を防ぎましょう。

問い合わせ 消費生活・地域安全課 電話番号 023(630)2460

「新型コロナウイルス」相談窓口

〈受診相談センター〉

感染が心配される場合

■風邪症状・発熱が続いている ■強いだるさ、息苦しさ ■発症者と濃厚接触 ■海外から帰国直後 など

1 電話相談

山形県の受診相談センター

フリーダイヤル 0120-880006【毎日24時間対応・土日祝日含む】

2 必要な場合は受診をご案内します

新型コロナ感染症外来

〈一般相談センター〉

コロナに対して不安に思う場合

■新型コロナのわからないこと ■新型コロナへの不安 ■予防方法 など

1 電話相談

山形県の一般相談センター

フリーダイヤル 0120-567383【受付時間 午前8時30分から午後6時 土日祝日含む】

厚生労働省の電話相談窓口

フリーダイヤル 0120-565653【受付時間 午前9時から午後9時 土日祝日含む】

聴覚や言語機能に障がいがある方については、以下の方法により受付をしております。

ファクシミリ 023-625-4294（月曜日から金曜日（祝日除く）午前8時30分から午後5時15分）

プレゼントクイズ

これからの山形県のものづくりの鍵を握る「○○○○思考」。○○○○には何が入るでしょう。

ヒント4から5ページ 特集1

1等 「つや姫」及び「雪若丸」各2kg【5名様】

2等 山形ころっぷ（メルローぶどう）【10名様】だんご本舗たかはし（上山市）

正解者の中から抽選で賞品（指定はできません）をプレゼント！

はがきに①クイズの答え②「県民のあゆみ」への感想など③郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入してお送りください。Eメールでの応募の場合は、本文に①から③を入力し、タイトル「プレゼントクイズ」で、y-ayumi@pref.yamagata.jp に送信してください。

あて先

郵便番号 990-8570（住所は不要です）山形県広報広聴推進課「県民のあゆみ」11月号プレゼントクイズ係
締め切り 11月30日（月曜日）（当日消印有効）

注釈 応募いただいた個人情報は、賞品発送と「県民のあゆみ」の記事作成にのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。なお、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

<16 ページ>

タイトル **やまがた伝説**

僧侶が命がけで仏になった即身仏が山形県に日本一多いのはなぜ？ミイラとは全く違うんだって！

人々の苦しみ悩みを救うため

自分の命を引き換えに？

即身仏は、飢餓や病に苦しむ人たちを救い、世の中の平穏を祈るため、僧侶が自ら命絶えるまで苦行を続け、そのまま仏になった姿です。日本には17体が残されていると言われていています。そのうち、山形県内には、鶴岡市に4体、酒田市に2体、白鷹町、米沢市にそれぞれ1体と、計8体もの即身仏が祀られています。

写真1キャプション 県内最古の即身仏「本明海」（江戸時代初期／鶴岡市・本明寺）

写真2キャプション 最高齢の即身仏「真如海」（江戸時代後期／鶴岡市・瀧水寺大日坊）

即身仏とミイラは違うの？

壮絶な修行の末に悟りを開き仏様に！

即身仏になる修行は、まず必要最低限の木の实や山草だけを食べながら、1千～5千日かけて、死んでも体が腐敗しないよう脂肪分を落とします。その後、深さ約3mの石室に閉じこもって息絶えるまで断食し、お経をあげ続けます。絶命してから、3年3か月後に掘り起こされ、少しの手当を行い安置されます。海外のミイラは、遺体から内臓を取り出して乾燥・防腐など人工的に加工処理された寝姿が一般的で、生きながら自らの意志でその姿になる即身仏とは、大きな違いがあります。

写真3キャプション 修業で食べていた木の实

山形の即身仏の名に

「海」の字がつくのはなぜ？

山形県に、全国の即身仏の半分近くが集中しているのは、山岳信仰の聖地である出羽三山の一つ、湯殿山信仰と深く関わりがあるためです。実際に即身仏の多くが湯殿山で修業した僧侶といわれ、開山した弘法大師・空海に由来する「海」の字が付いています。即身仏を生んだ出羽三山は日本遺産にも登録され、山の自然と祈りの結びつきや、山形県精神文化の豊かさを今に伝えています。

写真4 キャプション 湯殿山神社 参籠所と大鳥居

即身仏についてお話をお聞きした

伊藤 りつ子（いとう りつこ）さん

酒田市・海向寺 寺庭

苦しい修業の末に悟りを開いた優しく温かな顔をぜひお参りしてください

悩みや苦しさが悪いことで、楽しいことが良いこととは限りません。苦しいからこそ分かることがあり、優しくなれたり、大切なものに気付くことがあります。即身仏は、そのお姿を通して、私たちに苦しみが持つ意味を語りかけてくれます。

奥付

山形県広報誌 県民のあゆみ 令和2年11月号 618号

奇数月1日発行 編集発行 山形県広報広聴推進課

郵便番号 990-8570 山形市松波二丁目8番1号 電話番号 023-630-2534

表紙題字 山形県知事 吉村美栄子

県ホームページアドレス <https://www.pref.yamagata.jp/>